

2020年度業務実績報告書

提出日 2021年 1月 20日

1. 職名・氏名 助教・池本 裕行

2. 学位 学位 博士、専門分野 農学、授与機関 京都大学、授与年 2013年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 日本経済史（4単位） 2年生
②内容・ねらい 江戸時代から現代までの日本経済の流れと特色について講義を行うことで、その基礎的な歴史過程を説明できるようになるとともに、日本経済を長期的（歴史的）視点で考える姿勢を身につけることを目指す。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義では、その内容を記したレジュメを配布したが、昨年度に引き続き、集中して説明を聞くことができるように、空欄を設けなかった。内容の理解を深めるため、DVDの活用も予定していたが、遠隔授業時にはオンデマンド型、対面授業時には Zoom でも音声を録音する形で講義を行ったため、それは断念し、代わりに経済（生業）と環境の関係のように、身近なテーマを扱うことで、関心を高めてもらうように努めた。また、毎回講義後に提出してもらった出席レポートは、次々週までに確認し、講義内容の補足説明や質問への回答を行った。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎ゼミ（2単位） 2年生
②内容・ねらい 入門レベルの文献の輪読を行い、大学での今後の学習において必要となる、本や資料からレジュメを作成し、発表するスキルの習得や、歴史研究の方法論について理解を深めることを目指す。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 テキストの輪読では、丸写しにならないように、またレジュメ作成の経験がほとんどないことを踏まえて、その分量について上限を定めるとともに、改善点などを指摘した。テキストは、江戸の商人という特定のテーマを扱ったものだけでなく、史料の性質や史料調査といった歴史研究の基礎を扱ったものを選ぶことで、その方法論についての理解を促進した。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 外書講読（2単位） 2年生
②内容・ねらい 日本経済史に関するテキストを分担して輪読を行い、英語の文章を正確に読んで、理解できるようになることや、日本経済の歴史に関する専門用語を理解できるようになることを目指す。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 日本史を研究している海外の研究者が執筆したテキストを輪読したため、珍しい使われ方をしている用語も多く出てきた。そのため、和訳を丁寧に確認した上で、内容の補足説明を行うようにした。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 演習Ⅰ（４単位） ３年生
②内容・ねらい 日本経済史に関するテキストの輪読と、各自の研究テーマに関する報告を行うことで、日本経済の歴史について理解を深めると同時に、先行研究を踏まえて自分の研究テーマを見出すことを目指す。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 テキストの輪読では、丸写しにならないようレジュメの分量について上限を定めたり、報告者以外にも積極的に意見を述べることを促したりして、発表力、表現・発言力の養成を図った。また、グループに分かれてテーマを決めて研究を行い、それを４年生も参加した報告会で発表することで、研究の流れを実感してもらうように努めた。その後、自分の関心のあるテーマの文献を読んで報告し、次年度の卒業論文・研究に速やかに取りかかることができるように準備を整えた。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 演習Ⅱ（４単位） ４年生
②内容・ねらい 「演習Ⅰ」を通じてゼミ生が見出した研究テーマについての個別研究報告を中心に進め、自らの研究テーマについて、史料調査・分析を行い、卒業論文・研究としてまとめることや、その研究内容を他者にわかりやすい形で発表できるようになることを目指す。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ゼミ内で行う卒業論文・研究報告会に向けて、各自の研究テーマについて調査・分析を進め、毎月新たに調べた内容や進捗状況を報告するようにした。その際、お互いの研究に対して意見を述べることを求め、発表や議論の経験を積んでもらうように心がけた。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 日本経済史特論（２単位）（大学院）
②内容・ねらい 近年刊行された、近世の農山漁村に暮らした人々に注目した専門書をテキストとして輪読を行い、日本経済で起こっている問題について、歴史的視点から考察できるようになることや、歴史研究の分析手法・史料調査の方法について理解することを目指す。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 受講者が非常に少数だったので、受講者の関心に即したテキストを選び、内容の補足説明とともに、受講者としてしっかり質疑応答を行うことで、内容の理解を促進した。
(2)その他の教育活動 2020年10月、就職活動を支援するため、ゼミ内で３年生が４年生に就職活動体験について相談する就職相談会を実施した。 2020年12月、「SMAP インターゼミナール・コンテスト」において審査員を担当した。

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	【 本】
②学術論文（査読あり） ・「住職不在寺院の現状と歴史－高野山真言宗を事例として－」単著、『福井県立大学経済経営研究』第 42 号、2020 年 3 月	【1 本】
③その他論文（査読なし） ・「大和幕領における近世地主制の実態と特質－縄延びを含む小作米収取慣行に着目して－」池本裕行、阿部英樹、『中京大学経済学論叢』第 30 号、2019 年 3 月	【1 本】
④学会発表等 ・（書評）小谷正典『明治日本と鉄道－近代的鉄道政策の形成－』の書評 北陸地域政策研究フォーラム（Zoom にて開催）、2020 年 11 月、単独報告	【1 件】
⑤その他の公表実績	【 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
【学外】 ・科研費（若手研究 B） 研究課題：「近世日本社会における死亡構造の地域差に関する研究」（課題番号：17K18216） 2017～2020 年度、研究代表者：池本裕行	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	

5. 地域・社会貢献活動

- ・ 開放講義（敦賀高校（Zoom にて開催）、2020 年 10 月）
- ・ 橋本市図書館業務サポーター（市民講座の企画・講師など）（2013 年度～現在に至る）

6. 大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

- ・ 経済経営研究編集委員会（2019 年度～現在に至る）
- ・ ゆるやかな履修モデル検討 WG（2019 年度～現在に至る）
- ・ 新入生交流オリエンテーション運営委員（2019 年度～現在に至る）
- ・ 『福井学』推進メンバー（2019 年度～現在に至る）
- ・ 入試制度検討委員会（2020 年度～現在に至る）
- ・ 大学案内のアドバイザー（2020 年 11 月）
- ・ 職場委員会（2020 年度～現在に至る）

(3)学内行事への参加

- ・ 高校向け入試説明会（三国高校、2020 年 9 月）

(4)その他、自発的活動など